



どりーま通信

第34号 2021年 11月発行

特定非営利活動法人 どりーまサービス

<http://dreamer-service.org/>

どりーま

検索

主な紙面

- 吉野川事業所オープンP2
- 事業所だよりP4~P11
- 小原美代様105歳P9
- 体操教室P12
- デジタル部門開設P13

地域共生社会における

NPO活動を考える



理事長 山口 浩志

東京オリンピックが全ての日程が終了しましたが、特に後半のパラリンピックは世界中からの障害のあるアスリートら約4400人が集いました。彼らが自らの限界に挑む姿は、これからの地域共生社会の実現に向けて、数々のヒントや勇気を与えてくれたと思います。また世界中の政治が混乱する中で、スポーツを通して、分断や差別のない世界を築かねばならないことも教えてもらえた期間でもありました。

近江商人の経営理念の中に「陰徳善事」があります。これは江戸時代の近江で、社会貢献の「環」として、商人たちが治水や治山、道路改修、学校教育への寄付などを、人に知られないところで盛んに行っていた出来事がありました。やがてこの行動が世間に知られ、地域社会への貢献に結び付くこととなります。これらのことから、陰徳は後々には陽徳に転じる、という教訓として近江では伝えられています。

冒頭の、パラリンピック出場の手打ち、また出場できなかった選手たちも含めて、この日を迎えるまでには、健常者以上に数々の苦難の日々を乗り越えてきたことでしょう。そうした人の知らないところで努力した結果として、私たちに勇気と感動という陽徳を与えてもらえました。

私たち「陰徳善事」に習い、地域共生社会における福祉活動に挑戦しつづけたと思います。

障害者基幹相談支援事業について

名西郡障がい者基幹相談支援センター センター長 川島 成太



障がい者が地域で暮らせる社会、また、自立と共生の社会を実現するための相談支援の強化が必要となったことが背景にあり相談支援の充実に向けた取り組みの一環として、「基幹相談支援事業」が生まれました。

これまで名西郡の障害者相談支援事業は、障害児・者福祉サービスを利用するために必要なサービス等利用計画作成など、個別の相談支援である「計画相談支援」と、市町村が地域で必須とされている「障害者相談支援事業」という相談支援体制でした。この体制の中、専門的な相談支援事業として「基幹相談支援事業」の取り組みが検討され、石井町神山町からの運営委託事業として「名西郡障がい者基幹相談支援センター」が徳島県内初の基幹相談支援センターとして設置され、平成30年4月にスタートしました。

主な業務内容は、総合的・専門的相談支援、地域の相談支援体制の強化、地域移行・地域定着の支援、虐待防止に関する相談、障害を理由とする差別の相談、自立支援協議会の運営協力など多岐にわたります。

障がい者を取り巻く環境は変化が大きく大変な状況が見え隠れしていますが、地域の支援体制の一助となるように今後も活動に真摯に取り組んでいきたいと思っています。

どリーむキッズよしの川

Dream to be reborn — 生まれ変わる —

令和元年に知り合いの放課後等デイサービス事業所を引き継がせていただき2年になりますが、この度土地オーナーさんにご縁があり、新築移転することとなりました。

建築は、平成21年に初めて法人社屋を建てる時にお世話になった丸浦工業さんにお願ひし、見事な出来栄で、子どもたちの新しい居場所が完成いたしました。

新 築 移 転



新施設の外観

趣 旨

子どもたちが育つ上で、「尊厳」を基本とし、お一人おひとりの自立と自律を支援することを大切にしています。

また、ご本人やご家族が望まれる療育を実践していきたいと思っています。

新しい環境

生活機能の充実を図るためにも、ハード面とソフト面の両面からの取り組みをはかります。

ハード面では、遊具等を用いて体力向上に活かし、セラピストによる指導にて機能向上訓練を実施してまいります。

療育学習に関しては、壁面に映し出されるスライドにてダイナミックな授業に取り組み、楽しめる学習を目指します。



楽しみながら体感を養う(●^o^●)

新しい児童福祉への道



♪ブランコで感覚統合養う♪

生活支援

入浴を実施します。春から夏にかけては、ウッドデッキのある「あおぞらデッキ」にて露天を楽しめるよう支援していきます。

お食事は、専門職種(歯科・セラピスト)との連携にて、嚥下訓練を兼ねた支援をしてまいります。



あおぞらデッキで露天を楽しむ!(^^)!

地域と共に



支援のみにとらわれず、子どもたちの可能性を活かした、創作的活動や自立の機会を設けた生活指導にあつてまいります。

展 望



☆地域への広報活動☆

ま め 知 識



動 ける 医 療 ケ ア 児

胃ろうや経管栄養にてお食事を栄養管理や痰吸引、また導尿、インスリン管理等、医療ニーズがあっても、自由に動ける子どもさんを指して、「動ける医療ケア児」と呼ばれるようになった。

このことから、医療的ケア児の新たな「見守りスコア」が新設された。

あるがままを表現出来る環境

開所式典

この度の新築オープンにかける思いや、子どもたちのためにも何が何でも、という情熱があつてこそこのオープンが実現できたと感じ、これからその気持ちを持てることなく取り組んでいきたいと思います。またスタッフの皆様で吉野川市の障がい児福祉サービスの充実への活躍に期待するとともに、

徳島県知事 飯泉 嘉門様

ご来賓ごあいさつ



児童福祉への想いを伝える

よしの川どリーむキッズ新築オープンを記念して、開所式典を開催いたしました。新型コロナウイルス禍の感染防止もあり、会場は3密を避けた上で、ごく限られた小人数で、約1時間で終了となりました。しかし、参加された方々からは、温かい激励や応援のお声をいただき、スタッフたちにとっても大きな励みになりました。



栗飯原会長より応援のお言葉

信じて見つめる

資金がないからできない、人手がないから進まないという言葉を出さず、何が何でもやらねばならない、という強い気持ちと事業に向けた志があつてこそ、本日が迎えられることと思います。これからも、地域に根差した事業が実現できることにご期待もうしあげます、とのお言葉を頂戴いたしました。

東海運取締役会長 栗飯原 一平様



飯泉知事より激励のご挨拶

県内はもとより全国のモデルとなる事業を目指してほしいとの過分なるお言葉にスタッフたちも奮起いたしました。

職員からの誓いの言葉

保育士の藤岡愛里菜より、ご来賓及びご出席の皆様に向けて、誓いの言葉を宣言いたしました。

藤岡からは、ご来賓の方々やご出席された方に向けて、これから子どもたちへの療育や生活支援の他に、ご家族や地域への貢献に対しても努力していくことを誓い、会場からも称賛の声をいただきました。



管理責任者より事業説明

愛の道に坂なし

万歳三唱

顧問弁護士 松原健士郎様

最後に、顧問弁護士である松原健士郎先生より、法人の発展と職員たちへの労いと今後の活躍を祈



松原弁護士より万歳三唱

念して、万歳三唱の音頭を声たからかにとつていただき、心高まる締めくくりとなりました。



職員紹介(コロナ禍により正規職員のみ)

児 童 デ イ サ ー ビ ス

どリーむキッズ

プールで水遊び♪

コロナ禍で、感染対策をしながら、子どもたちと四季が感じられるシーンやイベントを大切に過ごしています。また、子供たちが音や手の感覚といった五感をフルに使えるように、スタッフが工夫をしながら取り組んでいます。

ちゃぶちやぶどりーむキッズのウッドデッキに今年もプールを出して、プール遊びを楽しみました♪今年の夏も暑かったので、水が冷たくて気持ちいい！水着でプールに入る子、足だけつける子、手に触れる子、みんなが様々なやり方で、水の冷たい感覚を楽しみました！

また、ジョウロやおもちゃでも楽しみました。水の中では、おもちゃの感覚もいつもと違う感覚を楽しみました！

一緒に作るう！

今年の夏は、夏の暑さが厳しかったため、室内で過ごす時間が増えました。そんな中でも、五感を使って楽しんでほしいと思い、スライムを作って子どもたちと遊びました。むゆ



水遊び気持ちいいなあ♪



スライムって気持ちいいなあ♡

にゅむにゅ、もにゅもにゅな手触りに子どもたちも興味津々！いつものスライムにキラキラのラメを入れて、目でもスライムを楽しみました。

また、グリセリンソープを一緒に作りました♪グリセリンソープは、電子レンジで溶かして固めてすぐに使うことができ、植物性で安心して使える手作り石鹸です。今回は、石鹸の中に、ローズマリーを入れました。ローズマリーの手触りと香りを楽しみながら作りました。出来上がった石鹸は、夏のプレゼントにお渡しして、大好評でした！色をつけたり、キラキラにしたりと可能性が無限大のグリセリンソープまた子どもたちと作りたいと思います！

お集まりで季節を感じてほしい！

お集まりの時間に、すずらんテープで作ったボンボンを「海だ♪海だ♪広いな♪」の歌に合わせて、波のように子どもたちに触れてもらいました。海の水と波が打ち寄せる感じを感じてもらいました。

目でも、耳でも、たくさん感覚で夏を感じることができました！

ペープサートで楽しみ広がります！

ペープサートとは、紙人形劇のことです。歌に合わせてパネルに物や動物が登場します。紙芝居よりも、表現力が豊かで子どもたちのペースに合わせて楽しむことができます。今日は、「にんじん、たまねぎ♪」とカレーライスの歌に合わせて一緒にカレーを作りました♪子どもたち紙人形を貼ってもらったり、一緒に貼ったりと楽しい時間を過ごしました。



いろんな動物出てきたね♡



あっ!しゃぼん玉だ♡



新チームで思いをひとつに

専門知識を高めさらなるステップアップを

も言えない喜びを大切に日々楽しく訪問しています。在宅では、小児から高齢者まで様々な背景の様々な疾患を抱えている方に出会います。皆さん、少しでも長く今ある生活を維持できるように頑張っておられます。その支えになるため、何かもつとできることはないかと考えていたところ、今回在宅ケア特定認定看護師を目指すに至りました。日々スタッフの理解と協力のもと仕事と勉学を両立することができています。資格取得ができた際には、学んだことをチームに還元し、チーム全体で人生に寄り添った質の高い看護の提供を目指していきたいと思っています。

ひだまり訪問看護ステーションとのNPO法人統合により人事異動がありました。二カ所共に新風を吹かせ、互いに切磋琢磨しいい、今後の飛躍につなげていきたいと思っています。まずはスタッフたちからの意気込みをご紹介します。



看護師 南 良美

在宅ケア特定認定看護師を目指して

私は、より身近で丁寧な看護がしたいと思い訪問看護師になりました。それから6年、どリーまあに異動して約1年が経とうとしています。毎日、利用者様に誠実に向き合い、その時私にできる精一杯の看護実践を心掛け、利用者様と心が通じる何となくの喜びを大切に日々楽しく訪問しています。在宅では、小児から高齢者まで様々な背景の様々な疾患を抱えている方に出会います。皆さん、少しでも長く今ある生活を維持できるように頑張っておられます。その支えになるため、何かもつとできることはないかと考えていたところ、今回在宅ケア特定認定看護師を目指すに至りました。日々スタッフの理解と協力のもと仕事と勉学を両立することができています。資格取得ができた際には、学んだことをチームに還元し、チーム全体で人生に寄り添った質の高い看護の提供を目指していきたいと思っています。



管理者 鎌田 洋美

未来へのステーション築く

在宅訪問 リハビリ



全人的ケアを目指して

チーム内のコミュニケーションを大切に

法人リハビリ部長 作業療法士 濱田 真理

昨年11月よりリハビリ部長に就任いたしました。まだまだ力不足ではありますが、スタッフの皆さんや利用者様に支えられて頑張っています。

私も追突事故にあい体の不調でつらい思いをしたことがあります。リハビリを辞めようと思ったこともありました。が、今続けられています。

病気やけが、障害で苦しんでいる人の悲しみや不安など理解しながらリハビリに努めています。人に寄り添い、ともに苦しみ、ともに喜べる存在でありたいと思っています。

リハビリしてよくなったと笑顔を見るとリハビリを続けてよかったと思います。そんな思いで毎回リハビリさせていただいています。

生活の質

理学療法士 山田 圭太

私が理学療法士を目指したのは、リハビリテーションの目標が身体機能や日常生活動作(ADL)の回復だけではなく、生活の質(QOL)の向上を掲げていることが、大きな理由の一つです。在宅へ訪問するリハビリでは、症状が維持されている方や進行していく利用者様が多くを占めます。身体機能の大きな変化が見込めない状況で、ADLなどに加えて、生活状況の全般を把握し、その方のQOLの向上とは何かを考えながら、理学療法を展開することがとても大切だと思います。長い期間、試行錯誤の関わりの中で、QOLの向上に繋がったと思う時がこの仕事を選んで良かったと感じる瞬間です。

出会い ふれあい ささえあい

ボランティアを始めたのはちょうど10年前かな。理学療法士として仕事をきて、母の介護をきっかけに仕事を退職してね。そんな中でも、社会とのつながりは欲しくて、でも仕事みたいに拘束はされたくないって（笑）。どリーまあのボランティアはちょうどいいって思っ、自分の時間を大切にできるでしょ。

その後、障がいのある方との外出支援の話をもらって、都合のいい日に活動できたのが良かったです。ボランティアの活動は、基本楽しい!!



ボランティアは元気の源です!

住民参加型在宅福祉サービス 有償ボランティア

協力会員

武田 純子 さん



活動が評価された三木千代子さん

(白杵)

どリーまあの団体設立当初から、ボランティア活動に尽力をいただいている三木千代子さんが評価され、徳島市社会福祉大会にて表彰されました!三木さんは「表彰いただけたことに感謝しています。長年やってきたことがお役に立てていたなら嬉しいです!」とお話されていました。長い間貢献いただきましたことに深く感謝申し上げますと共に、益々のご活躍にご期待申し上げます。

徳島市社会福祉大会で
表彰されました!

一緒に買い物をして、美味しい物を食べて、お互いに楽しい時間を共有して。「だって、友だちと出かけたなら楽しいじゃない!」活動を始めて友だちも増えました。

これからも、人とつながりたい!社会とつながりたい!だから、できるボランティアを続けていきます。



Care worker

ヘルパーステーション たすけあい 沖洲

コロナが流行し、感染予防のため利用者様にもマスクの着用や手洗いをお願いするのはもちろん、自分自身も介助時にはマスクとフェイスシールドを着用し常に手洗いを意識して行うようにしています。介助する側はソーシャルディスタンスを気にしつつ仕事をしており、多くの利用者様が以前より家族や親せきに会う機会がなく寂しそうにしています。

そのため利用者様の気持ちに寄り添い話をしたり、レクリエーションなどで楽しく過ごしていただけるように他の職員と相談しながらケアを行っています。



心から寄り添って♪

withコロナの介護

河野 芽衣



ケアを通して成長したい!

共感と信頼

そして業務の他にも同じ現場で働いているからこそ見えてくる職員を見抜く力、一般職の意見を聞きまよめながら施設の目指す目的の方向へとまとめる力、状況に応じた適切な判断力が介護部長として求められます。「一番大切な事は「自分の頭で考えて行動できるか」です。今後私の課題となりますが、課題を結果として出せる努力を日々行っていきたいと思っています。



ヘルパーステーション たすけあい

ホームヘルパーで訪問するお宅は自分では出来ないことを抱えて困っているところばかりです。本当に困っている経験があるからこそ心からの「ありがとう」「来てくれて良かった」「また来てね」と笑顔で言ってもらえます。だからこそ利用者様とのコミュニケーションを大事に考え、日ごろから自分自身笑顔を保ち、ささず話しかけるようにしています。

利用者様の笑顔を見るたびヘルパーをしていて良かったと自分の仕事に誇りを持ちお仕事をさせて頂いています。

助けあいをつなげる

介護部長 木村 理絵



皆様と一緒に体操の時間

そんな中、利用者様、職員共にコロナに負けじと様々な活動を行ってききました。

まず、園芸療法を取り入れていきます。夢ハウス前のプランターには、利用

収穫の喜びと達成感

笑顔の花を咲かせたい



管理者

向井 純子

私たち「夢ハウス」でも、アクリル板の設置、手洗い、うがい、マスクの着用、創意工夫しながらのレクリエーションなどコロナ感染予防対策を行っています。

コロナ禍の中における「活動と参加」プログラムに取り組む

Community

デイサービスセンター 夢ハウス

夢ハウスは、小規模の家庭的な雰囲気でも過ごしていただけるとご利用者様から喜ばれています。リハビリや体操で身体の維持・向上だけでなく、コロナ禍だからこそ笑顔になれる時間を大切にしています。そんな夢ハウスのコマをご紹介します。



トマトの苗植え

皆様と一緒に夏野菜（なす、ピーマン、しそ）を植え、野菜の成長を皆さんと毎日確認するのが楽しみになってきました。

他に生活リハビリとしておやつレクでは、季節を感じていただけるようなメニューについても色々な意見を出し合いながらスタッフ全員で取り組んでいます。

生活機能の維持向上

機能訓練は法人の理学療法士と作業療法士による生活訓練で、維持向上をしていただけるよう努めています。

夢ハウスにいらっしゃる笑顔の咲かせるために、これからも「寄り添うケア」の理念をもとチームケアを行っていかうと思っています。



階段昇降で生活訓練



水風船と糸を使って小物づくり



Care Manager

介護支援専門員

どリーまあ徳島



介護現場の経験を生かして新たな挑戦

ケアマネージャー 坂東 敦子



どリーまあサービスでケアマネージャーの部署へ配属されて最初は初めての業務ばかりで不安でしたが、周りの専門職の方のご指導やご協力によりこなせるようになりました。今は主に高齢者住宅の担当していますが、日々の変化に気づき迅速な対応で他職種との連携を図りながら利用者様に関わらせていただいております。利用者様が少しでも改善できた暮らしが実現できるように努力してまいります。

ケアマネージャーは話を聞くことが一番の仕事です。



ケアマネージャー 河野 一彰

ケアマネージャーとして心がけていること

介護支援専門員は、ご利用者様お一人おひとりのケアマネジメントにより、質の高い介護サービスを担保していくことが重要な役割のひとつです。また、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるために掲げられた、地域包括ケアシステムの実現への活躍も期待がかかることです。法人に所属する介護支援専門員の意気込みを紙面を通してご報告させていただきます。



サービス付き 高齢者向け住宅 「レスポワール」

目の前のことに
全力を尽くす



どんな状況でも
できる支援を考える

生活リハビリ
日常生活の中で行うひとつひとつの行為(起きる、手を洗う、歯磨きをする、うがいをする、食事を食べる、排泄をする等)を自分の力を活かして行うことと、援助を受けることで果たせられることを考えながら過ごすことが、生活リハビリです。
その中でも特に、おやつレク等は楽しみながらリハビリができて、効果抜群です。

新型コロナウイルス禍真っただ中の時代だけに、地域社会のみならず、高齢者施設内でも、新しい生活様式が強いられています。外出自粛やマスク着用等でご心労を心配するところですが、それよりもご家族のご面会が制限され、お会いできないことに憤りを感じておられるようです。それだけに、私たちはこれまで以上に誠意をこめてケアにあたることが大切なことです。
施設内での生活の「コマ」をご紹介させていただきます。



クリスマスの行事食♪ 敬老のお祝いイベント!(^^)!



食を楽しむ



楽器の演奏を楽しむ♪



季節の歌を楽しむ♪

音楽に理屈はいらなかった

五感を磨く

見る、聞く、嗅ぐ、味わう、触れる等の感覚を研ぎ澄まし、体験を積み重ねることは、生きている感覚を失わないことにつながると思います。

その機会を常に設定すること意識的に日常生活に取り入れさせていただいています。

音楽を聴いたり、リズムに合わせて体を動かせることは、理屈抜きに楽しいひと時を感じていただける時間です。

活動と参加

高齢者介護の中では、支援を提供するだけでなく、可能な範囲で「活動」できる場を設け、「参加」できる機会を設けることは、社会生活を営む上で大切なことになります。

福祉施設においても、日常の中で参加型支援をご提供できるかわり方を目指しています。



自分たちのできることで地域に貢献したい!



地域清掃

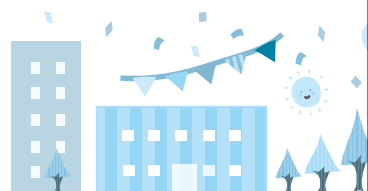
真心で地域に感謝

高齢者施設を運営していくにあたり、日ごろからの地域とのつながりは全ての面において大切なことです。

そうしたことから、何かの時間にお願ひするだけでなく、3か月に一度の地域清掃を通して感謝の気持ちをもち続けたいと思います。

互いの思いやりは 時間をかけて育まれます

サービス付き 高齢者向け住宅 「レスポワールⅡ」



小原美代様 105歳 を 祝う



人生の先輩に学ぶ

この度、105歳を迎える小原美代様の敬老のお祝いに、徳島県副知事福井広祐様と徳島市長内藤佐和子様がお祝いにかけつけてくださり、ご本人はもとより、職員一同も感激の一日でした。福井広祐副知事様からは、「これからもお元氣にお過ごしください。」と優しいお言葉をいただいたり、内藤佐和子市長様からは、「コロナ禍の感染予防にご留意され、これからも健康にお過ごしされることをお祈りいたします。」と、同じ女性としての尊敬の念のお言

健幸長寿を祝う

川内住宅の運営をさせていただくようになって、早や7年目となります。こちらでも川内地区の方々から様々なご支援ご協力をいただいております。徐々にはありますが、地域からも親しまれ、私たちも自然に馴染んでまいりました。コロナ禍の感染予防が強いられている中でも、ご入居者様は限られた暮らしの中から懸命にお過ごしいただいております。

福祉の真価に挑む

業に職員一同も励まされた気持ちで、すばらしい時間でした。小原様に感謝いたします。そしてこれからも長くお付き合いをお願いいたします。

お誕生日祝い

レスポワールⅡでは、利用者様のお誕生日をお一人おひとりお祝いさせていただいております。みなさんが1年1回、主役になっていただく日です！職員と利用者様の全力のお祝いに「こんなにたくさんの人にお祝いしてもらえるなんて、嬉しい！」と喜んでいただいております！



お誕生日おめでとうございます

笑顔でおかえりなさい

退院された時のお祝いは、職員にとってもとてもうれしい出来事なので、全員でお祝いをさせていただきます！利用者様に勢いよく「おかえりなさい」のくす玉を引いていただき、拍手でお祝いです。「ありがとうございます！利用者の笑顔が溢れる瞬間です。これからも、全力でお祝いさせていただきます。笑顔の楽しい時間を増やしていきたいです。」



待ってました！おかえりなさい

イベントを共に祝い

おやつレク

楽しみを工夫する

デイサービスの目的として、機能訓練等での支援を受けるだけでなく、「活動と参加」があります。かといって、地域の中で参加するというのではなく、デイサービスの中での参加が求められています。そこで、おやつを一緒に作り、皆さんで食べながら、作業を楽しむということがあります。日頃の成果の一例をご紹介します。



ベビーカステラ作り

地域清掃

3か月毎に、施設周辺や職員駐車場の清掃作業をしています。出勤途中や朝のウォーキングで通りがかる地域の人たちとあいさつを交わしたりできるのも、地域清掃の醍醐味です。職員同士も掃除しながら、コミュニケーションがとれたり、いろんな楽しみ方があるようです。



地域清掃で気持ちスッキリ！

サービス付き 高齢者向け住宅 『福寿草』

共に
生きる



家庭的雰
囲気でいつも
ご入居者様
もなごやかに
楽しまれてい
ます。

昨年7月から始めた福寿草
の様子を紙面を通じてご報告
いたします。
職員のおかげで日ごとに体
制が作りあげられ、今では
職員のアイデアや工夫により、
コロナ禍の中にあっても切
り抜けられており、ご入居者
様も安心のご様子です。

イベント

コロナ禍の中、外出もままなら
なく、室内の企画に終始している
毎日ですが、食事の工夫やバラエ
ティに富んだ企画によって、ご入居
者様と職員の一体感を感じます。

年末にはクリスマス、年始はおせ
ち料理を楽
しんだり、3
月は節分
等々、日本古
来から親し
まれた行事
を再現してい
ます。



サンタさんからプレゼント



ケーキでメリークリスマス



日本の四季を一緒に



行事食

季節毎の行事食はご入居者様
にとっても楽しみです。

管理栄養士である濱口と厨房
職員とで毎月開いている給食会議
でも、行事食のこととなると、メ
ニユーの工夫に力が入り、それだけ
にご入居者様の「今回も美味し
かったよ。」とお声が何よりもの
喜びになっています。

おやつレク

食で心を豊かに

生活リハビリの二環として、おや
つレクは月1回開催しています。

女性のみならず、男性も料理好
きな方がおいで、先頭にたつてお
手伝いしていただいています。

最近では7月に甘酒ぜんざいを
一緒に作り、あとで皆さんでにぎや
かに召し上がったようです。



さつま芋ぜんざい作り



甘酒ぜんざいでほっと一息

遊びリテーション

レクリエーションで機能向上

生活リハビリの二環で、
歌や踊りやゲームをしな
がらQOL向上に結び付
けるレクリエーションを
「遊びリテーション」と称
しています。

阿波踊りもひとつの遊
びリテーションの二環で、お
元気な頃はそれぞれに地
元で踊っていた方もいた
りして、よしこのリズムが
流れ出すと、普段では見
せない勢いで踊り出す人
もいて、季節関係なく取
り入れています。

よしのリズムに心躍る



ヤットサー ♪ ヤットヤット ♪

新チーム“和み”と“学ぶ”をテーマに



ひだまり 訪問看護ステーション

前NPO法人のご利用者様や職員の方々を引き継がせていただきましたが、ONETTEAMとしてより一層引き締まったようです。
これも前所長はじめスタッフたちの協力の賜物だと思います。
今後主治医先生はじめ、地域の方々の協力を得ながら、訪問看護・訪問リハビリを地域に浸透していきたいと思っています。

新しいエリアで奮起する



管理者 児島 恭子

ひだまり訪問看護ステーションでは、難病や末期癌の患者様、終末期看護など幅広く対応させていただいています。そのためスタッフ全体日々研鑽努力することを求められており、常に新しい在宅医療に挑戦いたしております。



チームで最高のケアを!

コロナ禍に対応して、考えられる限りの感染対策を行い、安心安全な訪問業務を提供しております。
今後とも信頼される訪問看護ステーションであり続けることをお約束いたします。

チームケアを大切に



看護師 鎌倉 友美

ひだまり訪問看護ステーションでは、これまでの訪問看護の経験を活かして医療的なケアに加えて心に通じるケアを常に考えながら訪問することを心がけています。また、改めて多職種連携の重要性やチームケアと個別ケアの必要性を感じており、利用者様にチームケアで関われるよう常にスタッフと会話を通じてコミュニケーションを図ることを大切にしていきたいと思っています。地域の方々が、ひだまり訪問看護ステーションを必要としてもらえる事で、自分たちの役割ややりがいにつながると感じていますので頑張っていきたいと思っています。

病院内看護の経験を生かして



看護師 河崎 彰子

訪問看護の経験はなかったのですが、ひだまり訪問看護に入職してからは、在宅利用者様の生活の中での看護の大切さを学んでいます。これからも利用者様やご家族に関わらせていただく中で、信頼関係を築き、何でも話し合える環境をつくり、安心してもらえる看護をご提供できることを心がけてまいります。

対話を大切に



理学療法士 大森 康平

私がリハビリテーションを行う際に気を付けていることは、利用者様や家族様と対話を大切にすることです。利用者様や家族様が希望することは必ずしもこちらが良いと思うこととは限らないことがあります。私が担っている在宅での機能訓練はまず利用者様の身体機能を把握することが大切です。その上でご本人が目標としていたりやしてみたいことを一緒に考えて、生きがいを感じてもらえるようなリハビリテーションができるように心がけてまいります。

現場スタッフを支えたい



事務 山本 由美

訪問して直接患者様と接する看護スタッフやリハビリスタッフとは違い、私は事業所内での業務がほとんどです。請求事務はもちろん、訪問看護に付随する事務が業務内容になるので仕事はかなりの多岐に渡ります。
事務と聞くと机上の書類仕事ばかりのように考えてしまいがちですが、訪問看護ステーションを堅実に運営していくためのサポートをし潤滑油の役割をさせていたいただくことも大事と心掛けています。そして、みんなと一緒に患者様の方を向いて仕事をするステーションであり続けたいと思っています。

体操教室

徳島市元気高齢者づくり事業



ソーシャルディスタンスをとっての体操

地域に笑顔の花を

開催日 毎週月曜・木曜
時間 9時～11時
場所 内町公民館

早くコロナ前の体操教室のように、皆さんと一緒に大声で笑い合ったり、掛け声をかけながら体操ができることを願っています。それまでは、マスク・消毒等の感染対策をしながら、体操していきますしよう！

内町体操教室

「今日もコロナに負けずに体動かそう！」元気な指導員さんの声かけから体操が始まります！

内町教室は、和室で開催しているちよつと珍しい教室で、畳の上にパイプ椅子を置いての体操をしています。

参加者同士の仲がとても良く和気あいあいとしていて、少し離れた所に住んでいる方がお友だちとバスに乗って参加してくれている方もおられます。現在は、コロナの影響でできませんが、春にはお花見、冬には忘年会と体操だけでなくイベントも盛んな教室です。

早くコロナ前の体操教室のように、皆さんと一緒に大声で笑い合ったり、掛け声をかけながら体操



楽しく継続することが大事です！

昨年から新型コロナウイルスの影響により、体操教室を実施できたり、休止したりが続いています。参加者の皆さんからも、「体操教室をしてほしい。」「みんなと会いたい。」とお話をいただくこともあり、休止にさせてもらう時は、とても苦しいです。今回は、平成17年6月にどりーまあサービスが最初に活動を開始した内町教室をご紹介します。

皆さんが主役です！

コロナに負けるな！元気高齢者づくり事業！

徳島市健康長寿課 地域ケア推進担当 辻 優子さん

私は、本事業の担当者になって3年目になります。皆さんとお喋りをして、一緒に体操をするのも楽しみのひとつになっていました。

現在、各地区での体操教室は、新型コロナウイルスの影響で思うように開催できない状況が続いています。皆様が教室に参加する際には、感染予防のためにマスク着用、手指消毒等をお願いしています。皆様の感染予防への協力のおかげで安全に教室運営ができています。また、やむを得ず中止する場合は、スタッフの方々が自宅でできる運動や健康づくりのヒントをお手紙で送ることで、地域の皆様との繋がりを絶やさないように工夫してくださっています。

一日も早く教室が継続して再開でき、皆様とお会いできる日が来ることを願っています。

はじめまして



どりーまあサービスに、有償ボランティアの活動でお世話になっていて、その関係で運動指導員やりませんか？と声をかけていただきました。

今までは働いていたデイサービスで体操の時間としてやったことはありませんが、「運動指導員」として皆さんの前で体操をするほど専門知識がない私に務まるのか正直不安もあります。

現在は、研修中で各教室を回らせてもらって、体操やレクリエーションの勉強をしています。早く一人前になり、皆さんとお会いできることを楽しみにしています。コロナ禍のため新規参加者の受付は中止しています。

運動指導員 村永 博則





根拠に基づく介護サービスを

科学的介護 推進室

介護を
科学的に実践



室長 山口 拓也

科学的介護推進室とは、2021年度の介護報酬改定で本格稼働を始めた介護の新しい情報システムLIFEの導入と、国へのデータ提出やフィードバックを活用することで得られる加算の算定を推進する各専門職によって構成されたプロジェクトチームです。

科学的介護とは、客観的な根拠に

客観的な効果を!!



科学的介護推進室ではLIFEを活用し、加算の算定だけではなく、「利用者様がどのようなサービスやケアを望んでいるのか」をデータから把握し、サービスの向上と、効率の良いサービスを提供することで職員の業務負担を減らすことにつながる働きかけを推進してまいります。



最適なケアを見つける

働きやすい職場づくり



皆で丸となって

DX推進室

皆が使える
システム作り



室長 杉本 仁史

DX(デジタルトランスフォーメーション)推進とは「アナログで行ってきた業務をデジタルに変換させる」という意味で、その目的は「生産性の向上」、「事務作業の効率化をあげること」です。つまり、サービスの質的向上を図るためにもDXの取り組みは欠かせません。これか

らは、DXなしに事業を継続していくのは難しくなるともいわれています。

DX推進に向けて、多職種から現状の問題点や意見等を吸い上げ、改善案を検討します。また、ICT化に向けた情報を収集し、看護・介護等が手作業で行っている事務作業等とのマッチングを行い、効率化・一元化できるシステムの導入などを実現させたいと思っています。

ICT導入の際には、スタッフ全員がDXを理解して効率よく働くことができるように、ルール作りや情報提供を行いますので、ご協力をお願いします。



サービス向上につなげるための話し合い

研修 レポート



デイサービスセンター夢フレンド

副主任 楠 真梨

とき 令和3年5月18日（火）

・テーマ **中堅・ベテラン従業員の為のキャリア形成**
・講師 株式会社あしあとみらい研究所 **田中 道博様**

中堅・ベテラン従業員の為の研修会に参加させていただきました。私自身後輩に教える機会が増え、どのように伝えれば相手にとって分かりやすいのかと悩むことが多くありました。

講師の先生が丁寧に教えてくださり、人に伝える時にはまずその人のことを知る事。その人がどんなタイプなのか、仕事以外のコミュニケーションによってその人に応じた対応や指導を行うことで効率よく仕事が出来ると思いました。また様々な職種の方との意見交換もあり、同じ悩みを抱えている方の意見を聴く事で自分自身も刺激となり勉強になりました。

失敗しても恐れずやり抜く意思を再確認



の変化の中でも自然と感じました。自
長することを理解
し行動することが
必要であると感じ
ました。貴重な経
験を今後は活か
してまいります。

楽しみや学びにも根拠があつた



感じることもなく、上手に生きていけるように支援をしていきたいです。

小児領域発達障がい児・知的障がい児支援のためのSST講習会に参加してきました。

SSTとはソーシャルスキルトレーニングのことで、社会で人と人とが関わりながら生きていくために欠かせないスキルを身につける訓練のことで、つまりは“人付き合いのコツ”です。主には病院などで取り入れられてきた技法ですが、現在は精神疾患や発達障害に関わらず取り入れられています。

発達障害という特性を持っている子供たちは、相手の気持ちや分らず不快な思いにさせてしまったり、自分の気持ちをうまく伝えられずストレスを抱えてしまったりと対人関係を上手く築けないことを問題視しがちですが、コミュニケーションを学ぶ経験値が少なかったことにより、コミュニケーション能力が身につけていない子供たちなのです。

とき 令和3年7月31日（土）

・テーマ 発達障がい児・知的障がい児支援のためのSST導入・実践研修会
・講師 SST普及協会認定講師 土屋 徹様



どリーむキッズよしの川

作業療法士
市原 結

スーパーアクションプラン

「2021年～2023年新アクションプラン」を立てた直後に、新型コロナウイルス感染症が発生し、経営計画の見直しをいたしました。この度、「スーパーアクションプラン」とし、アフターコロナ禍に向けた再スタートしたところです。その中から、ポイント的なスライドをご紹介します。

- ① スーパーアクションプラン策定にあたり

はじめに

法人として5年後のあるべき姿はNPOの使命をかけた「地域共生社会実現」への貢献につきます。

そのためにはデジタル化推進と経営基盤の安定化を継続させると同時に、未来に向けた地域貢献できる法人の存在意義と役割を示すことです。
- ② 事業環境に対する認識

インフォーマル	フォーマル
NPO法人としての住民参加型サービスを見失わず、日頃からニーズ対応型サービスを生み出すことを心掛けることが、プロセスとして組織運営の源泉となる。	介護報酬、障害者福祉サービス報酬、診療報酬に対応するビジネスモデルで収益力を牽引する。

組織	人材	財務
①産業構造変化の加速化 ②デジタル改革の急進	①人事考課の徹底 ②リーダー育成 ③次世代育成 ④研修体系再考	①健全なるバランスシートの実現 ②財務体質改善 ③数値目標提案力
- ③

Mission 存在意義: ご利用者に寄り添うことで「安心」を提示し、地域によりそうことで「信頼」を築き職員や家族に寄り添うことで「夢」が叶えられることに誠意を尽くす。

Vision 経営理念 ありたい姿: 1. 地域の現状からサービス開発を見出すニーズ対応型サービスの実現
2. NPOの強みを磨き、新領域にも挑み続ける勇気
3. 職員や家族にとって誇りを持てるNPO
4. 連携機関や地域とのつながりを大切にNPO

Values 経営方針 価値観: 1. 利用者からの要望に対して期待を超えるサービスが提供できる人材
2. 変化に対して柔軟に対応できるチャレンジ精神旺盛なチームの力
3. 困難な局面にあっても未来への希望を失わないNPOの力

行動指針
- ④ ありたい姿の実現に向けたスーパーアクションプランとして取り組むべき行動

運営	生産性向上と人材強化 ～デジタル改革～	・どリーまあ版DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進
組織	寛容自在を持つ組織 ～地域貢献できる法人改革～	・人材確保と教育システム構築 ・法人経営基盤の改革と再編
事業	質の高い事業 ～地域共生社会への実現～	・NPO法人として最善の力を発揮できる場と積極的なアウトリーチ ・法人内連携・地域連携の構築 ・異業種・他産業との連携
財務	財務体質強化 ～経営体質の改善～	・経営現場の急変にも揺るがない財務体質
- ⑤

2019年 2020年 2021年 2022年 2023年 2025年 2030年

事業所アクションプラン → スーパーアクションプラン

Withコロナ

常態化する不確実性・社会生活は加速的に変化

・コロナ禍による新プランの構築
・どリーまあが挑む課題
・デジタルトランスフォーメーション
・医療機関・高齢者施設の変化を抽出

▶ イノベーションを起こす(協創)
▶ 事業分析、評価による科学的経営
▶ 営業エリア、対象患者、新市場の開拓
- ⑥ 高齢者分野 基本方針と重点施策

新たなサービス分析と多角的サービス展開の創出

基本方針

 - ①在宅巡回型サービス展開の検証
 - ②住まいの多角的な機能の実現
 - ③医療ニーズの対応力見直し
 - ④認知症ケア体制の取り組み
 - ⑤インセンティブサービス展開の商品化

重点施策

 - ①訪問介護サービスのモデルチェンジ
 - ・潜在型サービスから巡回型サービスへの転換
 - ・シニア世代職員の役割
 - ・サ高住併設訪問介護員在宅サービス展開
 - ②通所サービス
 - ・栄養マネジメント 口腔ケアへの取り組み
 - ・機能訓練メニュー見直し
 - ③訪問看護
 - ・入退院支援強化、・医療機関への積極的アプローチ
 - ・エリア展開
- ⑦ 児童福祉分野 基本方針と重点施策

療育のデジタル化を医療ケア児への対策

基本方針

 - ①療育、学習のLCT化とどリーまあ版学習の構築
 - ②社会資源を活用した地域交流の場確保
 - ③医療ケア児への対応に係る専門職連携
 - ④連携先の新規開拓

重点施策

 - ①放課後デイ事業
 - ・送迎システムの構築(効率化)
 - ・営業エリア拡大
 - ・動ける医療ケア児
 - ・一時預かり フリースクール
 - ②重点デイ
 - ・看護師と保育士のスキル向上
 - ・送迎システム
 - ・営業エリアの見直し
- ⑧ 財務労務分野 キャッシュフロー創出と資本効率の向上

・資本コストを意識した経営の実践による資本効率の向上
・戦略領域への積極投資経営による持続的成長とM&Aを推進

事業別 ROIC検証

資本効率の向上

適正な資本配分による強力な事業投資戦略

・2023年ROE目標 達成

資本効率の向上

適正な投資評価・モニタリング

財務の健全性向上

※スーパーアクションプラン一部抜粋

令和3年度 研修計画

月	職 員 研 修	幹部職員研修	新人職員研修
4月	介護報酬改定セミナー		
5月	新委員会体制会議		
6月	心の法話 ～御仏の思いやり心で介護すると互いに救われる～	源義経に学ぶ ワンポイントアドバイス	
7月	感染予防について／食中毒について		新人職員研修
8月	職業倫理とOJT／ビジネスマナー講座	『理念と経営』 共に学ぶ会	
9月	事故対策防止と記録／ハラスメントについて		
10月	心の法話	『理念と経営』 共に学ぶ会	
11月	ストレス・アンガーマネジメント研修		新人職員研修
12月	認知症ケア／バーセルインデックス	『理念と経営』 共に学ぶ会	
1月	虐待防止・身体拘束／腰痛予防対策		
2月	BCP研修(感染症)／BCP研修(災害対策)	『理念と経営』 共に学ぶ会	新人職員研修
3月	各委員会活動報告会		

令和3年度 委員会構成

◎委員長 ○副委員長

◎麻野 ○山口拓	委 員 会	末 広	沖 洲	川 内	北佐古	国 府	よしの川
	研修	◎山口拓 木村	○丸山典	松田	西根	大森	木村
	防災対策	○丸山 ^(本部)	◎森	高橋	原	長岡	木村
	感染症	小笠	○鎌田	濱田	川野	◎児島	瀬尾
	身体拘束・虐待防止	◎斎藤	鎌田 大上遼	谷原	○田渕		藤岡
	事故防止		◎福居	青木	○坂尾		
	デジタル	◎福本	○河野	清水	池野	長岡	木村
	ハラスメント	◎杉本	麻野	山田	田渕	児島	山口チーフ

令和3年度 専門部門

	部 長	副 部 長		部 長	副 部 長
看護部	児島 恭子	鎌田 洋美	住宅部	杉本 仁史	山口 拓也
リハビリ部	濱田 真理	山田偉伏希／長岡悠人	ケアマネジメント部	福本 誠司	影浦ゆかり
介護部	木村 理絵	福居めぐみ／田渕眞一	給食部	濱口ひとみ	清水 由美
児童福祉部	木村 茂幸	松長美由紀	地域推進部	山口 拓也	臼杵 顕子